

米国環境保護庁
ワシントン, D.C. 20460

大気放射局

2018年11月5日

ENERGY STAR®コンピュータパートナーまたは他の関係者各位

このレターをもって、米国環境保護庁(EPA)は ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 7.1 を確定する。最も注目に値するのは、この修正により、モバイルワークステーションの定義を満たす製品が追加機能によりエネルギー使用量の許容値を利用でき、代替低電力モード (ALPM) の要件を明確にし、内部電源装置の定義を更新したことである。すでに基準バージョン 7.0 に適合したコンピュータには、この修正は影響を与えない。

EPA はバージョン 7.1 案に対して多くのコメントを受け取った。あるコメントは、モバイルワークステーションの定義を更新し EPA が過去に承認した標準を参考するように要求した。加えて、ALPM の定義では、すべての ALPM は一定のネットワーク接続を維持する必要はなく、依然として ALPM はスリープモードや長期アイドルモードの測定を目的とるように見なされるため、変更を要求されたが、これを EPA は採用した。追加のコメントでは、表 6 : 内部電源効率許容値で最低平均効率は不要で削除されるべきであると指摘され、訂正した。最後に寄せられたコメントでは、電力管理のインセンティブをバージョン 6.1 にあるように再導入するよう要求された。EPA は電力管理設定をする事業者にインセンティブを再導入した。最後に、米国エネルギー省は ENERGY STAR 試験方法をアップデートし、最終修正版をリリースした。

当該基準についての質問または懸念事項に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov (202-343-9153) または John Clinger, ICF, John.Clinger@icf.com (215-967-9407) に連絡のこと。試験方法に関しては、米国エネルギー省の Jeremy Domm, Jeremy.Domm@EE.Doe.Gov (202-586-9870) に連絡のこと。他のコンピュータ関連の質問に関しては、computers@energystar.gov に連絡のこと。

ENERGY STAR プログラムへの変わらぬ支援に感謝する。

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT 及びデータセンター製品、EPA マネージャー

同封：

適合基準バージョン 7.1